

# よつくら通信

文責；いわき市立四倉小学校長 小川幸一

## 子どもとの接し方を見つめ直して

### アメリカインディアンの教え

- 1 批判ばかり受けて育った子は、非難ばかりします
- 2 敵意にみちた中で育った子は、誰とも戦います
- 3 冷やかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります
- 4 ねたみを受けて育った子は、いつも悪いことをしているような気持ちになります
- 5 心が寛大な人の中で育った子は、がまん強くなります
- 6 はげましを受けて育った子は、自信を持ちます
- 7 褒められる中で育った子は、いつも感謝することを知ります
- 8 公明正大な中で育った子は、正義心を持ちます
- 9 思いやりのある中で育った子は、信仰心を持ちます
- 10 人に認めてもらえる中で育った子は、自分を大事にします
- 11 仲間の愛の中で育った子は、世界に愛を見つけます

ある日、私が見たショッキングな光景を紹介します。それは、ある食堂でのことです。両親と子ども(中学生と小学生)の4人家族が料理の注文をして料理が来るのを待っている時のこと、両親と中学生はスマホでメール操作か何かの検索、小学生は携帯型のテレビゲームをしています。それぞれが自分の世界に入り、夢中です。会話は一切ありませんでした。唯一の会話は、「どれにする?」「おいしかった?」「終わった?じゃあ帰ろう」。

皆さんは、このような光景から何を感じるでしょうか。食事は、同じものを食べることを通して家族の絆が深まる時。つくづく残念です。

アイフォンの発明で世界的に情報革命を起こしたアップル社のスティーブ・ジョブ氏は、「私の子ども達は、アイフォンをまだ使ったことがないのです。私は子ども達のハイテク利用を好ましく思っていないのです。」と話し、食

事の時には一切の情報機器をつけず、家族の会話を楽しんでいるとのことでした。また、勉強の時もコンピュータで調べることはさせず、図書館で資料を集めさせたり、実際に体験させたり、自分の五感を通して学ばせているとのことでした。

上の資料は、加藤諦三著『アメリカインディアンの教え』という本に書かれているものです。それぞれの文章を「親が〇〇すると、子どもは〇〇になります」と変えて読むと、ドキッとします。いつもこれを読むたびに、わが子への接し方を反省させられます。どなたでも、自分の子どもが生まれた時には、「元気で素直な子になってほしい」などと人としてごく自然な願いをお持ちになったと思います。しかし、単なるかわいい赤ちゃんだったわが子が、歩くことができ、ことばを知り、いろいろなことに興味を持って動き回るまでに成長すると、親が子どもの成長についていけず、また、親も仕事などで忙しくなり、いつしか親中心の考え方の接し方になっていきがちです。不思議なもので、(自分の子どもに限ったことかもしれませんが)親の考え方、行動の仕方に子どもは本当によく似てきます。親の一举一動が、まさしく子どもの鏡となります。

先日、こんなこともありました。特急列車に乗り東京へ行く機会があり、指定席に座っていました。母親と1年生らしき女の子が私の席の後ろに座りました。しばらくすると、背中がドンドンと押される感覚を覚え、ふり返ると女の子が自分の両足をまっすぐに伸ばし足を私の座席シートの上にもたれ掛け、足をばたつかせていたのです。隣を見ると、母親も同じようにシートの枕あたりまで足を上げていたのです。そして、それぞれに携帯のゲームをしていました。私が女の子に、足をドンドンやらないようお願いすると、母親は「だから言ったじゃない。」とだけ女の子に言うだけでした。

私達教師も含め子どもと接する時には、子の将来を見据えて接していきたいと思うこの頃です。

～ 10月の行事予定 ～

3日(火) 集金日(低)	15日(日) 福島県PTA連合研究大会
4日(水) 集金日(中)	<b>16日(月) 繰替え休業日</b>
5日(木) 集金日(高)	17日(火) 市内全小学校教員の研修会のため児童下校 11:00
<b>6日(金) お弁当の日</b> 6年こころの劇場	<b>18日(水) お弁当の日 就学時健康診断</b>
<b>9日(月) 体育の日</b>	<b>全児童下校12:30</b>
<b>11日(木) お弁当の日 校内学習発表会</b>	20日(金) クリーンタイム PTA奉仕作業
全児童14:30下校	22日(日) 東北ユネスコ活動研究発表会福島大会 6年代表4名 生涯学習プラザ 9:00
12日(金) 6年「あすチャレ!スクール」 (車椅子バスケット体験)	24日(火) 4年出前講座 5年生下校 13:00
<b>14日(土) お弁当の日 学習発表会8:30</b>	<b>25日(水)～27日(金) お弁当の日</b>
<b>臨時PTA総会 12:00～12:50</b>	<b>5年宿泊活動</b>
<b>緊急時引渡し訓練 14:00</b>	27日(金) 1～4年生見学学習
<心の教育相談員勤務日>	<学校司書勤務日>
4・6・18・25・30日	5・12・13・19・20日

**6年生 ユネスコスクール出前講座より**

27日(水)に、6年生を対象にユネスコスクール出前講座が開かれました。

ご承知の通り、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization U.N.E.S.C.O.)とは、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関です。

本校では、平成26年1月にユネスコより、いわき市でただ1校となるユネスコスクールの認証をいただきました。それ以来、ユネスコスクールとして四倉町の自然や文化、産業などについて、全学年でテーマを設定し探究活動を展開してまいりました。これまでの成果を、10月22日(日)に、平にある生涯学習センターで開かれる「ユネスコ東北大会福島大会」において、6年生代表4名が、教員とともに発表してまいります。時間がある方は、どうぞお越しください。第1分科会で、9時から発表が行われます。

講座の中で、ユネスコ活動の3本柱(教育、科学、文化)の活動内容等についての話がありました。中でも、世界には貧困のあまりストリートチルドレンとなって、学校にも行けず、ひたすら物乞いの生活をしている同じ子ども達がいることに驚いていました。書き損じはがきの回収もユネスコで行っています。書き損じはがきは1枚47円になります。はがき11枚分で、インドでは一人4か月分の授業料になることや、1枚分で大きなパンを7～8個買うことができ、1日の家族の食糧がまかなえることがわかり、協力の大切さを感じていました。



**<ミサイル発射への対応について>**

他国のミサイル発射のたびに、児童の安全を確保するための対応のあり方が全国で問題となっています。過去2回の発射の様子からミサイルが発射され、Jアラートの通報があるまでには数分かかり、その間に、すでに日本上空を通過している感じです。

ミサイルが発射された場合、原則的には頑丈な建物の中での屋内待機です。登校前の場合はそのまま自宅で登校の連絡があるまで待機させてください。(ミサイル通過の時点で登校を再開するメールを発信します。回線が混み合い、メールが送れる場合があります。その場合は電話で学校にお問い合わせください。)

しかし、登下校中などは子ども達に連絡する時間はありません。もし、登下校中や、屋外で遊んでいる時などにミサイルの警報がありましたら、近くの子供達を家の中に避難させてくださるようお願いいたします。